

## 雑感 カンニングを誘う問題

■ 2016年のセンター試験が始まる少し前に、過去10年間のセンター試験におけるカンニングについての報道があった。

2016年1月12日の朝日新聞記事を載せる。

2006～15年の10年間の大学入試センター試験で、2件の替え玉受験を含む65件の不正行為があったことが明らかになった。大学入試センターによると、不正行為をすると、全ての受験教科・科目の成績が無効になり、67人が処分を受けた。

替え玉受験のうち1件は08年、東京海洋大の試験場で、2日目の数学①と数学②の試験であった。体調不良で帰宅した高校の女子生徒の名前と受験番号を使い、同級生の女子生徒が自席で受けた。机上の受験票の受験番号と答案の受験番号が違うことに、試験監督が気づいて発覚。代わりに受験した生徒はすでに推薦で合格しており、「同情した」と話したという。

もう1件は10年に京都橘大の試験場であった。高校の男子生徒同士が事前に打ち合わせ、互いに相手の名前と受験番号で受けた。採点の段階で、数学②の解答に不審な点が見つかり、2人から事情を聴くと不正を認めたという。

このほか、「解答終了の指示後の記入」が30件、「定規の使用」が13件、「カンニングペーパーの所持・使用」8件、「電卓・電子辞書の使用」が4件などの不正行為があった。センター試験の受験案内では、どんなことが不正行為になるか9項目に分けて注意を促している。

大学入試センターの担当者は「不正行為は絶対に許されない。すべての成績が無効になることを考え、軽率な行動は慎んでほしい」と話している。

■ そして、今年、7件の不正行為があり、内訳は、カンニングペーパー使用2件、定規使用2件、試験時間中の問題冊子室外持ち出し1件、スマートフォン使用1件、試験終了後の消しゴム使用1件だったと、産経新聞は18日に伝えている。

■ 不正行為の中で、替え玉受験やカンニングペーパー・電卓等の利用は確信犯である。それに対して、試験終了後の記入や定規の使用はつつい行ってしまったという行為で、同情するつもりはないが不注意としてありうることに思える。

■ 通常の定期試験や模擬試験などで、試験終了後の記入などは（短時間であれば）厳しくとがめられていない可能性もあるし、定規などは普通に使っているのではなかろうか。その延長上にこの不正行為があるのかも知れない。

■ 「大学入試ではコンパスはもちろん定規も使えないから、常日頃の問題演習でもフリーハンドでそれなりの図が描けるようにしておきなさい」と、私は再三指導している。

このカンニングのニュースを生徒に紹介し、「全科目0点になるんだぞ」というと、びっくりした顔の生徒がたくさんいた。

■ さて、2016年の数学IAの第5問。図形の問題だが近年珍しく参考図が掲載されている。

問題の中で、 $\frac{EC}{AE}$ 、 $\frac{GC}{DG}$ の値を問うている。

正解はそれぞれ $\frac{1}{2}$ 、 $\frac{1}{3}$ であるが、手元のPDF

出力を定規で測ってみると、 $EC=15\text{mm}$ 、 $AE=29\text{mm}$ 、 $GC=20\text{mm}$ 、 $DG=60\text{mm}$ である。

定規で測れば正解が出せる。定規を使いたくなるなあ。

まるで、定規使いのカンニングを<sup>そそのか</sup>唆しているみたいだ。

別に定規がなくてもおおよその見当がつく問題であり、設問の適切性が問われる。

■ 過去10年の数学IAの図形問題を調べてみると、参考図が掲載されているのは2009年第3問にあるが、定規があっても役に立ちそうもない問題だ（分度器は欲しいかも知れない）。

